



各 位

平成 24 年 8 月 21 日

会 社 名 特 種 東 海 製 紙 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 三 澤 清 利
(コード番号 3708 東証第一部)
お 問 合 せ 先 取 締 役 社 長 室 長 大 島 一 宏
TEL 03-3273-8281

リチウムイオン二次電池向けセパレータの生産に向けて

当社は平成 23 年 10 月 18 日付で、リチウムイオン二次電池をターゲットとした電池セパレータ（絶縁体）の開発に成功したことを公表いたしました。

公表以来、国内外の多方面の企業や諸機関の皆様にも本製品への関心をお持ち頂き、多くのお問合せをいただき心から御礼申し上げます。

現在、鋭意、将来市場の予測や新用途の開発に努め、本製品の量産方式の検討や生産技術の確立に取り組んでおりますので、その進捗状況と今後の計画についてお知らせいたします。

1. 量産化に向けた開発状況

当社のセパレータの特徴は、当初発表どおり、環境に優しい廉価なセルローズ材料を 100% 使用し、テーブルテストでは微多孔フィルムや不織布と比較しても同等レベル以上の性能を有すると再評価しております。

2. 生産予定

当初は、実験室レベルから一気に平成 24 年度末からの大規模設備での生産開始を予定しておりましたが、市場初の試みであることや、リチウムイオン二次電池ユーザー情報について多くの知見を得たことを踏まえ、まず小規模な生産設備を導入し生産技術を確立しつつ、生産性やユーザーの評価を慎重に進めていくことといたします。

このため、本格的な生産開始予定は、2 年ほど延期し平成 26 年秋に変更したいと存じます。

3. 今後の計画

テストマシンの役割をも兼ねた小規模マシンでの設備新設について取締役会で決議いたしましたので、現在、テストマシン兼小規模生産マシンの最終設計段階にあり、明年早々に建設工事を起工し同年 10 月には完成予定です。

なお、建設地は当社島田工場内とし、テストマシンへの投資額は約 10 億円を予定しております。

当初は、テストを兼ねた小規模生産として市場に提供する予定ですが、平行して本格的な生産機の設置場所の検討を進め、量産技術の確立と市場動向を見極めて、大型設備を建設し量産体制を構築したいと計画しております。

当社は引き続き、リチウムイオン二次電池向けセパレータの開発に注力し、より一層の製品信頼性の向上と基本性能の強化を進め、実用化を目指してまいります。

なお、本件にかかる業績見通しに対する影響については、今後の生産販売状況を見極めた上で、判明次第、開示いたします。また、本格的な生産機の仕様、建設場所、投資額などについては、確定次第あらためて開示いたします。

以 上